第50号
昭和48年6月15日
発行＝小国町役場
印刷＝小千谷市位下印刷

広報おぐに

小国町の人口（前月比）

男	5,088人	(+8)
女	5,332人	(−2)
計	10,420人	(+6)
世帯数	2,402	(−2)

昭和48年5月31日現在

千七百歳に祝福され

小国町成人式

—新緑の弥彦にて—

昭和四十八年度の小国町成人式は、五月二十七日初夏の陽光もさわやかな新緑の弥彦を会場に行なわれました。例年、成人式は中央公民館を会場として行なわれますが、「成人式を成人者の心に残る思い出に…」との配慮から、趣向を変えた今回の計画が立てられました。

昨年から学齢によって成人式の対象者を決めることになり、今年は小国中学校第一回の卒業生等が成人式を迎えられました。男二十八人、女十七人の出席者は、三台のマイクロバスに分乗し、小国から一路、式典会場の弥彦神社に向かいました。神前でおはらいを受け、それぞれが前途の幸運を祈願したあと、御神酒が振舞われました。

式典では、成人者を代表して北原真理子さんが「…豊かな教養を身につけ、健全な身体を鍛えて、平和で明るい社会建設のために…」と宣誓。

記念撮影終了後、弥彦スカイラインを走り、山頂にて昼食会、新潟東港を見学して、研修を兼ねた成人式の日程を無事終了しました「バスに乗っている時間が長くて疲れたけれど、こんな成人式もよいのではないか…」と成人者の間では好評でした。

潮風に吹かれて（新潟東港にて）

—役場—

永年勤続表彰

五月二十三日県町村会において、長年地方自治体に勤務し、地方自治体の振興に寄与した功績をたたえる永年勤続表彰が行なわれました。

小国町役場からは、次の四氏が表彰されました。

竹内　武雄（現助役）
佐藤三三雄（現総務課長）
安沢　勇（現税務課長）
野田富三郎（現建設課長）

児童手当現況届の提出はおはやめに

家庭生活の安定と児童の健全な育成、資質向上をはかるための一つの制度として、児童手当制度があります。この制度によって児童手当の支給を受けている方は今年の一月末日現在で約百二十七万人に達していますが、四月から支給対象となる児童の範囲が拡大されたことにより大幅に増加しております。

ところで、この制度によって児童手当の支給を受けている方は、すべて毎年一回、六月一日から同月三十日までの間に「児童手当現況届」を市区町村長（公務員の方は勤務先、以下同じ）に提出しなければならないことになっています。

この「児童手当現況届」によって、市区町村長は児童手当の支給を受けている方の前年の所得の状況や児童の養育の状況などについて確認をし、引き続いて児童手当の支給を受けることができるかどうかをみることになっています。

このように、この届はたいせつなものですから、必ず提出してください。

もし、この届が提出されないと、引き続いて支給を受ける資格があっても、六月分からの児童手当の支給を受けることができなくなりますからご注意ください。

企業と学校の調整会議開かる

—学校行事について申し合わせ—

昭和四十六年以降この小国町にも、急速に各種企業が進出してきました。しかし、これらの企業の大半は婦人労働者を対象としているため、学校行事による欠勤者が多く、企業の生産活動に与える影響も少なくありません。また、就労者も企業と学校の板ばさみになるため、これらの点で改善策が強く要望されていました。

そこで五月二十二日中央公民館において、学校側と企業側の代表者による、学校行事についての調整会議が開かれ、いろいろな話し合いがなされた結果、次のような申し合わせが行なわれました。

1、学校側は、行事を極力月曜日に行なう。
2、企業側では、学校の行事がある場合には休日を月曜日に振り替える。
3、学校行事は、できるだけ半日で終わらせる。
4、入学式、卒業式については、月曜日に行なうことはむずかしいので、企業側にご理解を願う。
5、企業側は、学校の予定を区域学校または教育委員会に問い合わせ措置する。

町内にある各種団体の行事についても、このような現状をご理解いただき、日取り等の決定には、充分な配慮をお願いしたいものです。

今月の納税

町県民税	第1期
国保税	第3期
国民年金料	第2期
保育料	6月分

公民館前に駐車場オープン

四十七年度事業として建設が進められていた公民館前の駐車場が、この程店開きし、現在、一部は柏農小国分校の生徒・職員が自転車、バイク、自動車の置場として利用しています。町民のみなさんも、公民館等に用があるときは気軽に利用してください。

駐車場の面積は二千六十二平方メートル、工事総額は、百八十万七千円でした。普通車なら六十台位が駐車できます。

今まで公民館前は、自動車が五～六台駐車できる程度のスペースしかなく、町民のみなさんには何かと不便をおかけしていたわけですが、この駐車場の完成によって、これが解消されたわけです。

完成した公民館前の駐車場

—健康—

食中毒

つゆにはいると、気温も湿度も高くなり、ムシムシする日が多くなります。このような天気が続くと、平常健康な人でも体調をくずすことが多く、食物などもカビが生えたり、腐りやすくなるので、食中毒にかかる人も増えてきます。食中毒の発生には、気象条件とくに気温や湿度と密接な関係があるそうですが、いずれにしても食物に対しての注意をおこたってはなりません。また、このように身体の抵抗力が弱くなる時期にこそ栄養のある食事を心がけてください。

献血にご協力を

6月29日　午前10時30分～後3時
於・中央公民館

血液は人の生命の源です。不測の事故や、病気が急変し輸血が必要になってからでは間にあいません。こんなときのために輸血用保存血液が必要なのであり、重要なのです。

輸血が必要なとき、何型の血液でも必要なだけ十分にすぐ間にあうようみんなで力をあわせて解決しようというのが献血制度です。いわば—社会に対する人道的な愛情と助けあう社会共同の原則に対する理解に基づく相互扶助—です。

小国町では六月二十九日に県の献血車ゆうあい号が来ます。町民各位のご協力をお願いします。一世帯に一人、一年に一回は必ず献血をしましょう。

心配ごと相談所増設

心配ごと相談日を6月より月3回に増設いたします。

どんなささいな問題でも気軽にご利用ください。秘密を守る皆さんの相談室です。

5日、15日、25日　お忘れなく……

小国町社会福祉協議会

〝名称募集〟老人憩の家

福祉対策の一環として、本年度に建設が決まっている、老人憩の家の名称を募集することになりました。

十月中には、延命寺ヶ原の北端、楢沢、新町周辺を一望できる小高い丘の上に、杉林に囲まれた〝第三の人生〟の城ができあがります。児童遊園も隣り合わせに建設され、小国町の楽園になることと思われます。

この老人憩の家にふさわしい名称をつけてください。

応募要領は次の通りです。

資格　小国町の住民なら誰でも応募できます。

申し込み方法　官製はがきに部落名、氏名、年齢を記入の上、名称を書き、名称に対する簡単な説明を加えてください。一枚に一名称とし、一人いくつでも応募できます。

〆切　六月三十日（当日消印有効）

申し込み先　役場住民課福祉衛生係

なお、採用者には記念品が贈られます。

恒例の春期消防演習

六月十日午前八時から、小国町総合グラウンドにおいて恒例の春期消防演習が、四百八十名の団員、消防ポンプ自動車二台、小型動力ポンプ二十八台など、小国町消防団の全組織が集結して実施されました。

柏崎警察署、柏崎消防署などの来賓が見まもる中で、人員、姿勢、服装の点検、部隊訓練、機械器具の点検、ポンプ操法が行なわれ、ポンプ操法の部では、各分団の中から優秀な部が表彰されました。

分列行進後、新町地内の用水池で放水訓練を行ない無事に演習を終了しました。

毎年行なわれるこの演習は、火災にそなえてのものですが、できるならば火災は未然に防ぎたいものです。

なお、今回表彰された方は次の通りです。

まず人員、姿勢、服装を点検

。日本消防協会より
。精績章
消防団副団長　若井一正
柏崎・刈羽地区支会長より
。消防地区支会長表彰

宮川　一郎	一分団	五部
阿部　俊雄	一〃	五〃
今井　雅之	二〃	一〃
大橋　吉輝	二〃	五〃
大橋　金作	二〃	六〃
中沢　俊之	三〃	二〃
飯田　豊一	三〃	三〃
高橋　憲一	三〃	四〃
中村　国吉	四〃	一〃
山崎　文隆	四〃	四〃
安沢　輝雄	四〃	五〃
青柳　正夫	五〃	一〃
角山喜比古	五〃	二〃

（これは部長、班長であって、五年から十年勤続したものを対象としており、永年勤続十年、二十年は、八月に県消防本部が行なう表彰の対象者として推選してあります。）

一台の機械も故障なく（放水訓練）

。小国町より
。感謝状（幹部退職団員）
団長　村山藤一
副団長　角山善一
分団長　池島寛

。ポンプ操法優秀につき表彰された部

第一分団	第一部
第二分団	第一部
第三分団	第一部
第四分団	第四部
第五分団	第四部

。火防賞

牧野　武	山野田
小川　政樹	大貝
山岸　慎吾	三桶
中村啓二郎	苔野島

田中　虎太	原
小島　順一	森光
片桐　福司	小栗山
福原　功一	諏訪井
笹崎　久雄	諏訪井
北原　俊治	太郎丸
保坂　幸永	太郎丸
安沢　隆行	小国沢
大久保系敏	上岩田
内山　繁夫	法末
関口　一良	楢沢
高橋　肇	新町
池島　正春	上谷内
田中　真一	相野原
中沢　嘉己	猿橋
竹部　淳平	二本柳
山崎　道夫	法坂
山崎　耕平	法坂
金子貞太郎	桐沢
中村　政治	箕輪
岩野保太郎	金沢
山崎　春男	下村
安沢　静雄	武石
相波　政治	武石
加瀬　幸雄	押切
渡辺熊太郎	七日町
丸山　国男	上栗
藤田　栄治	原小屋
佐藤　善治	千谷沢
小川啓三郎	鷺之島
中村　菊二	八王子
内山　義輝	芝之又

国民年金

ねんきん

手続きはすみやかに

国民年金

国民年金には、いろいろな手続きが必要ですが、この手続きを忘れているために、国民年金に加入もれになっていたり、係の方で転居先がわからず保険料の集金ができないでいる例があります。手続きをしないために、障害年金や母子年金などの年金を受ける権利がありながら、受けていない人も見うけられます。

加入もれになっていたり、保険料を納め忘れたりしていると、将来、年金がもらえなくなることがあります。

次のようなとき手続きが必要となります。忘れずに行なってください。

一、満二十歳になったときや会社や工場をやめたとき。
二、国民年金に加入している人が、会社や工場に勤めて厚生年金に加入したとき。
三、国民年金の加入者や受給者が住所をかわったとき、または氏名が変わったとき。
四、満七十歳の誕生日を迎えられたとき。（福祉年金は、本人の請求によって支給を始めることになっています。）

また、保険料を納められない人は、申請をすれば保険料が免除されるという制度もあります。

任意加入できる人（会社員や公務員の奥さんなどがそうです。）は、加入されると一層有利になります。加入を希望される方はいませんか。

これらの手続きなど詳しいことについては、役場国民年金係にご相談ください。

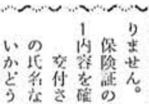
尚、国会で国民年金法が改正になれば、年金が大幅に増額されます。改正案は次の通りです。

		現在（年額）	改正案（年額）
拠出年金	5年年金	30,000円 （月額2,500）	96,000円 （月額8,000）
	10年年金	60,000 （月額2,500）	150,000 （月額12,500）
	25年年金	150,000 （月額12,500）	300,000 （月額25,000）
福祉年金		39,600 （月額3,300）	60,000 （月額5,000）

国保コーナー

（その三）

保険証



保険証は正しくは国民健康保険被保険者証といい、国保に加入すると一世帯に一枚ずつ交付されます。

保険証は国保の被保険者であるという証明書であると同時に、お医者さんの診療を受けるときの受診券の役目を果たすものです。お医者さんにかかるときは必ず保険証を提出しなければなりません。お医者さんはそれによって、みなさんが国保に加入していることを確かめ、保険による診療を行ないます。保険証なしで診療を受けると、医療費は全額自分で負担しなければなりません。

保険証の取り扱いは、

1内容を確かめておく
交付されたら被保険者の氏名などに間違いはないかどうか確かめておきましょう。

2必ず手元に保管する
お医者さんの診療が済んだら必ず手元に保管しましょう。預け放しは紛失など事故のもとになります。

3資格が無くなったら返す
他市町村への転出や職場の医療保険にはいったときは直ちに届け出の上、国保係に返してください。

4紛失したり破ったりしたとき
紛失したり、破って使えなくなったときは、すぐ国保係へ届けを出して再交付を受けてください。

他の市町村に住む場合は…

出かせぎ、長期の旅行、修学のためなどで他の市町村に住むというような場合は、その被保険者のため特にもう一枚の保険証の交付を受けることができます。役場国保係へご相談ください。

卓球大会個人戦のお知らせ

—町民球技大会—

この大会を始めて三年目を迎え、年ごとに多数の参加をいただいています。

当日は、卓球同好者はもちろん、家族の方やチビちゃんの応援もあって、楽しい一日が過ごせます。

中学生や高校生は非常にレベルアップし、一般の方は追いつけない状態ですので、今年は申し込み者数にもよりますが、学生、一般、三十歳以上とそれぞれを分類するなどの方法を考えています。多数の方の参加を期待します。実施の方法は次のとおりです。

日時　六月二十四日（日曜日）午前九時から
会場　小国町体育センター
主催　小国町体育協会
後援　小国町卓友クラブ
　　　　小国町教育委員会

申し込みは、六月二十日までに教育委員会へお願いします。

卓球の友へ

。これから卓球を始めたい方
。卓球の技術向上を目ざしたい方
。運動として健康のため体育の向上をはかりたい方
。趣味として続けたい方
。余暇に運動したい方

これらの方にお知らせします。

小国町の卓球同好者の親睦をはかることと、小国町の体育の向上を目的として誕生した卓友クラブも、早三年を経過し、その存在も町の後援や体育協会の協力、会員それぞれの活躍により、町内外に認められるようになってきました。

この卓友クラブの総会が五月二十八日中央公民館にて開催され、昨年の経過報告、本年度の事業計画が承認された後、四年目を迎えた今年は、より一層の活躍をしようと誓いあいました。

今年度は、婦人層にも卓球を楽しんでもらうために呼びかけるなど、会員を幅広く募集する方針です。小国町の中で、一年を通して楽しめ、しかも各公民館でもできるスポーツというのは卓球ぐらいのものと思います。多数の同好者が、会員が増えることを望んでいます。加入希望者は、新町の安沢総夫宅（とこや）へ申し出てください。練習日は次の通りです。

練習日時
毎週　月、木、土曜日
午後七時三十分から
　　　十時まで
練習場所
小国町体育センター

第二回町民俳句大会ご案内

日時　七月二十九日（日曜日）九時から
場所　中央公民館
兼題　夏雑詠（五句一組限り）
　申し込み金三〇〇円
席題　当日発表
　会場費　一〇〇円
投句及び申し込み先
　教育委員会事務局
〆切　六月三十日必着
　（出欠明記のこと）
選者（順不同）

市川　渓雪	今井　博
品田　細哨	永見　稜鳳
町田片見草	中村　一晴
相波　葎歩	山崎　可曲
山崎　灯谷	今井　勝人
富沢　陵霧	

賞品　兼題、席題ともに二十位までが表彰されます。町長杯、町議会議長賞、教育長賞、公民館長賞などたくさんの賞品があります。

なお、出席者には発表誌を進呈します。

主催　俳句作家連盟
後援　教育委員会